

鉛筆アートの世界 古谷振一

展 Shinichi Furuya
Art Exhibition



YouTube

総再生回数 1,700 万回を誇る
超絶の鉛筆アート

令和3年

4月24日(土)～5月23日(日)

平日 11:00～16:00

土日祝日 10:00～17:00

富山市民プラザ2階アートギャラリー

入場料(中学生以上)500円

主催:(株)富山市民プラザ、古谷振一



生活価値創造
富山市民プラザ
Toyama
Shimin
Plaza

〒930-0084 富山市大手町6-14

www.siminplaza.co.jp

詳しくはホームページを
ご覧ください。





Shinichi F.

Shinichi

鉛筆アートの世界 古谷振一 展

Shinichi Furuya Art Exhibition

プロフィール

幼い頃からテクノロジーへの興味と、絵画への興味を持ち、双方の分野で夢を抱くようになる。思春期にはテクノロジーの方が食いつけがれないであろうとの思いから、技術系の専門学校への進学を選ぶ。と同時に絵画への道は遠ざかってしまう。技術系専門学校を卒業し大手製造業に就職するも、子供の頃の絵画への思いが頭から離れず、趣味で絵を描くようになる。

ただし道具の手入れが面倒なので、手っ取り早く鉛筆を用いたデッサンを始める。ただ普通にデッサンの手法を用いたのではリアルな絵が描けないため、独自に下書き方法を編み出し、リアル画の道を進む。自分が描くリアル画をなるべく多くの人に見て欲しい、また絵で感動を与えたいとの思いから製作過程を定点撮影し、YouTube に投稿するようになる。

最初の頃は再生回数もチャンネル登録者数も伸びなかったが、徐々に注目され始め、地元のテレビ局を始め、関東関西のテレビ局からも、出演の依頼を受けるようになる。

YouTube 動画が話題となり、中でも広瀬すずさんを描いた動画が一気にバズり、「めざましテレビ」、「ミヤネ屋」、「とくダネ」他、多数の情報番組で紹介され、海外のメディアでも紹介される。本業と趣味の絵との二足のわらじ状態である。

- 1964年 富山県小矢部市に生まれる。
- 1970年 大阪万博を見てテクノロジーに興味を抱く。
- 1971年 小学校入学。この頃から絵の才能で頭角を現す。図画工作の成績は常にクラスでトップ。
- 1974年 広島県広島市に転居。小学校時代の趣味は電子パーツ集めとBCLと絵を描くこと。富山県に戻る。
- 1977年 中学校入学。ブラスバンド部と美術部に所属。北日本新聞社主催の中学選抜写生大会で賞を総なめ。
- 1980年 石川工業高等専門学校、電気工学科入学。石膏像のデッサンで、美術の先生も驚愕の超リアルな絵を描く。
- 1987年 大手工作機械メーカー入社。
- 1989年 鉛筆画を始める。会社の作品展で鉛筆画を出展したところ、間違えて写真コーナーに展示される。
- 2013年 YouTube に鉛筆画のメイキング動画を投稿開始。
- 2016年 YouTube 動画の総再生回数が600万回突破。ネットニュースで写真を超えた鉛筆画と紹介され、テレビ出演多数。7月に高円寺で初の個展を開催し、成功を収める。10月に小矢部クロスランドタワーで2回目の個展開催。
- 2018年 YouTube 動画の総再生回数が1100万回突破。3月にロイヤルホテルTOYAMA TONAMIにて、3回目の個展開催。
- 2019年 YouTube のチャンネル登録者数が10万人を突破。
- 2020年 YouTube 動画の総再生回数が1700万回突破。
- 2021年 5月21日公開の映画「いのちの停車場」のティザービジュアルに採用される。



鉛筆画家
古谷振一

古谷振一
YouTube
チャンネルはコチラ



～ご来館の皆さまへ～

- 体調不良（発熱や倦怠感など）及び感染症陽性の方との濃厚接触がある方は、来場をお控えください。
- 入場時に手指消毒、検温をいたします。37.5 度以上の発熱や風邪の症状がある方の入場はご遠慮いただきます。

- 入場、退場時の混雑を避けるため、分散にご協力ください。
- 当日は、会場係員の指示に従ってください。

お問い合わせ

〒930-0084 富山市大手町6-14
(株)富山市民プラザ 資産管理活用グループ
☎ 076-493-1313
E-mail event@siminplaza.co.jp

www.siminplaza.co.jp

イベント開催時は、市民プラザ駐車場及びグランドパーキングが混雑する場合がございますので、公共交通機関のご利用をおすすめします。

当日の駐車場割引サービスはございませんのでご了承ください。

